

## 令和6年度 あすなろの家 事業計画

### 令和5年度 力を入れてきたこと

令和5年度は「踏み出せ一步」をキーワードに、アフターコロナの中、以前の活動に戻すよう取り組みを行ってきた。また、あすなろの家の活動を通してどんな社会にしていきたいのか？あすなろの存在意義を考える活動を取り入れることも行った。

「本物のケア」では、①ESR による個別指導を75%の職員が受講。受講した職員には大変好評な取り組みであり、不安な介護技術を教えてもらえるという安心感にも繋がっている。②自立支援介護について各部目標数値を立て達成に向けて研修等を行った③後期からは SC 委員会の取り組みを軸に自立支援介護実践報告会を外部向けに企画し地域の同業者の方に伝える場を設けることが出来た④認知症ケアについて DBD のデータを取り、職員が認知症について学び理解を深め認知症ケアが改善していくことで DBD 数値が下がっていくことを目標に実践した。

「本物の接遇力」では、①毎月の振り返りシートを利用し、自分だけでなく周りもできるを目標に意識を上げていった②地域からの満足度調査、雰囲気の良い地域にもとサンキューカードを配ることも行った。

「本物の繋がり」では、①各部署、自分たちの取り組みを地域に知ってもらう企画を計画、100%実行できた。②あすなろの考えていることを発信しようとインスタのフォロワー数、通信の配布場所を増やすことに取り組んだ③高齢者だけでない地域に向けたイベントとしてウォークラリーを年2回実行。シルバー世代以外の参加者40%以上も達成した。

「私たちが」では、①成長支援シートにあすなろの進みたい方向、目的を落とし込み取り組んでいった。また、生産性向上についての取り組みも始めた(気づきシート)②施設の取り組みに自ら参加する職員が増えるよう、やりたい人を募集する機会を増やした③あなたのはっぴープランを実施。プライベートを充実させることで働くことのはっぴーも見つけられるよう取り組んだ。

## 令和6年 未来色

コロナが落ち着き、社会はコロナ前のような日常を取り戻しつつある。

さあ、明るい未来へむけて！走りだそう！と行きたいところではあるが、社会には多くの問題が山積されている。

人口構造の変化により様々な問題が懸念されている 2025 年問題。

国民の約 3 人に 1 人が 65 歳以上、約 5 人に 1 人が 75 歳以上となり、社会保障、主に医療・介護、年金などが限界に達し、社会全体に負の影響がもたらされると言われている。

最大の課題と言われている労働力人口の減少。高齢化社会の進行によって今後はあらゆる産業が人材不足に陥り、従業員の採用競争の激化が予想されている。

数年前より私たち高齢者介護の業界にもこの波はひしひしと押し寄せ、あすなろの家も強く感じている所ではある。

そんな状況は認識しながらも、

「そんな社会情勢だから仕方ない」「困った困った」

とただ見ているだけなのか

「どうやってこの社会情勢の中で仲間を増やしていこう？」

「自分たちはどうやって、どんな色をだして事業を展開していこう？」  
と自分たちで切り拓いていくのか

私たちのあすなろの家が未来に繋がっていくよう  
あすなろの家は何色を選ぶのか？何色で勝負するのか？  
ここまで繋いできた「本物」たちと一緒に  
自分たちで「未来色」を創る  
そのための大事な1年にしたい

## 重点課題

### 本物のケア

あすなろの家の仕事は介護、支援が必要な高齢者に生活支援、介護支援を提供し、安心した時間を過ごしてもらうこと。その時間を直接、間接様々だが多方面から支えているのが職員である。ご利用者ご家族、地域から任されたその時間を本当に安心した時間として過ごしてもらう、そんなプロとしての技術を私たち職員は持ち合わせているのか？時代に合った知識技術を習得できているのか？

「任されている責任」「任される喜び」を感じながら、プロとして学びを続けていく。

(ESR 介護技術・自立支援介護・SC 自立支援介護在宅研修、勉強会・認知症ケア)

☆自立支援介護勉強会 外部 200 人に聞いてもらう

### 本物の接遇力

接遇力を高めていくことを重点課題に入れ取り組み始めて 年となる。「丁寧な対応」「感動を生み出す対応」「カッコいい接遇」「金太郎接遇」「ピカイチ接遇」いろいろな角度から接遇力向上を目指してきた。もちろん今年度も接遇力を強化していくことに変わりはないが、

「接遇力を上げたい」「自分以外の周りに温かい対応をしていきたい」からこそ、「自分を大切にすること」もとても大事。自分自身の心とからだ健康であることは、接遇力を高めていくための大前提。職員一人一人が「自分を整えること」に意識を向けてみる。そして、「全員が相手の事を想った温かい接遇ができる」に繋げていく

☆毎月の振り返りシート「自分も周りもできていた」に 100%マルがつく

### 本物の繋がり～地域～

あすなろの家があることで地域を元気にしていきたい！

あすなろの家の仕事は高齢者を支援すること。

じゃあ、高齢者だけが幸せであればいいのか？そんな地域はあり得ない。

そこで暮らすすべての人たちが笑ってられる地域をつくることはできないか！

地域が元気ってどういうことだろう？

元気な地域って、そこに暮らす人が「動いている人が多い」「家から外に出る人が多い」そんな風に考えたとして「行きたい場所がある」「行かなければならない場所がある」ってことがカギになるではないか。

あすなろの家の活動の中でできることは限られているが、この「場所作り」にフォーカスし、取り組んでいく。(ホームページ・インスタ・通信)

☆あすなろが企画した行事等への参加者年間 600 人以上

## 私たちが

あすなるの家の大事にしたい大きな柱、「ケア」「接遇力」「繋がり」は毎年変わらない。しかし、同じことの継続ではなく進化、深化を続けている。そのために必要なことが「私たちが」職員一人ひとりが主体性のある職員に成長を続けること、私たちが考え、私たちが「本物」を作っていく。やるのは誰かではない、私たち。

昨今、介護業界でも大きな問題になっている「労働者不足問題」、私たちあすなるの家でも大きな問題となっている。人が居なければ事業の継続は不可能…。自分たちの課題を自分たちで改善させる力をつけ、「一緒に働く仲間を増やす」ため「わくわくできる職場作り」をさらに強化していく。

☆「一緒に働く仲間を増やす」「わくわくできる職場」をキーワードとした企画を1つ各部全職員で実施

## 各事業

特養 活き活き！わがまま！自由で OK！

ご利用者にとって、大切な時間を過ごすであろうあすなるの家での時間、窮屈な思いをすることなく生活してほしい。それが実現できる職員集団、チームでありたい。そのために…。

ショート

あすなるでしかできないことをもともと強化（自立支援・パワリハ・ライフサポートメイトさんとの連携）皆で色を選び作っていく。

デイ おSIGOTO デイの色作り

SIGOTO わくわく！あすなるタウン 誰かから必要とされること、誰かの役に立つこと、褒められること それは生きていく喜び！！ご利用者がいつでも自分として自分の力を発揮して輝いて居られる場所。あすなるタウンに来ていることでなにかワクワクする！生きがいを感じられる場所。ご利用者一人ひとりが主役になれる町を！職員一人ひとりがワクワクすることに挑戦できる町を！

ヘルパー

ヘルパー事業所として仕事を1つ1つ丁寧にやっていくこと。そして、この1年はつなげるヘルパーの色を創ること。この色がいいと思ってもらい、選んでもらえるヘルパーの色を皆で創り、未来色に繋げていく。

居宅

「できる限り在宅で自立した日常生活を継続できるように支援する」この方針のもとで、「自立支援介護」の知識、技術の習得を目指し、「あすなるなら安心」と思ってもらえるようなケアマネジメントや事業展開を行っていく。

ケアハウス 「安心」「安全」「自立」の継続

不安がなるべく少ない生活が続くように、自分でできることが無くならない生活が続くように、ほんの少しのサポートで、自分らしく、安心した生活が続けられるケアハウスにしていく。

ひかりサロン 買い物×体操で心も体も元気に！

フレイル高齢者を対象に、モールウォーキングとポール体操で身体機能の向上を図りながら、買い物によるコミュニケーション機会や商品選定、計算による認知機能の向上で、いつまでも要介護状態にならずに、在宅で元気に生活が継続できるような事業展開をしていく。

厨房

「おいしそう！食べたい！食べよう！と感じて笑顔になれる食事」にポイントを置き、一人ひとりの身体状況や嗜好を考慮してご利用者を元気にしていく。そのために多職種で協力し、多様なニーズに対応できる調理技術・専門知識・感染症予防の知識の習得に力をいれていく。

## ライフサポートメイト

自分も元気！ご利用者の生活をチームで支えるそのひとりに！

### 1. 設備・固定資産取得

車両入替（1台） エアコン吹き出し口廻り結露対策工事 各居室窓際部 床塗装修繕工事  
 4人部屋仕切りカーテン入替工事 廊下腰壁修繕工事 各居室壁面補強工事、  
 浴室パネルヒーター入替工事 施設バックヤード（職員食堂・休憩／仮眠室 等）  
 非常用電源余剰電力活用工事 ケアハウス居室空調設備入替工事

### 2. 人材育成

人事制度（キャリアパス・成長支援シート・考課者面談・施設長面談）  
 内部研修（年間20程度）・新人研修・介護技術研修・考課者研修  
 接遇関連研修（虐待関連含む）・リーダークラス育成研修  
 1回／月の部署会議の充実

### 3. 人材確保

実務者研修支援制度、5連休制度継続、柔軟な勤務体系  
 あすなろの仕事の魅力発信、インスタ・ホームページの充実

### 4. 地域行事

ファミマなんでも相談、S型デイへの訪問と活動支援、カフェすまいる（認知症カフェ）  
 参観会、七夕竹飾り出展、港まつり総踊り参加、山原山清掃（年2回）参加、山原盆踊り参加  
 飯田まつり参加・飯田生涯学習交流館まつり参加、S型デイスタッフ懇談会開催  
 飯田地区調理実習支援、集まらないウォークラリー、レッツポール体操  
 H i k a r iひろば、みんなのほけんしつ、あすなろ通信配布、インスタ投稿  
 ケアハウスでんでん体操、ケアハウスエコクラフト教室

### 5. 防災

委員会開催6回／年（防災訓練打合せ・非常用備品確認・BCP内容打合せ）  
 訓練 特養・ケアハウス 地震→火災→避難シュミレーション（2名／月）  
 土砂災害シュミレーション（2回／年）  
 デイ 地震→火災→避難（2回／年）  
 1・2・3階食堂にて暖炉を使用した炊き出し訓練（2回／年）  
 消火器・消火栓使用訓練（旭産業に指導いただき、1回／年）  
 研修 毎月の各部署職員会議での防災ミニ研修

## 令和6年度各事業部目標数値

サービス名	目標利用率
特 養	99%以上（空床日数174日）
ショート	95%以上（19名／日以上）
デ イ	95%以上（33名／日以上）
ヘルパー	10ケース／日以上
居 宅	42ケース／1人
ケアハウス	100%以上（空床日数 0日）
ひかりサロン	70%以上（16.8名／日以上）